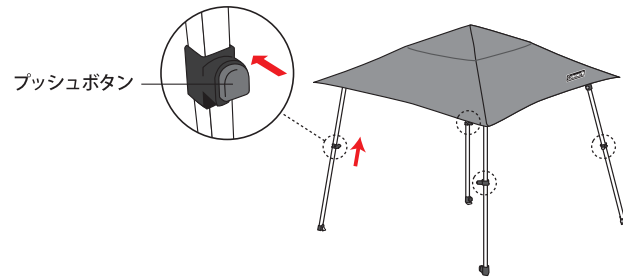
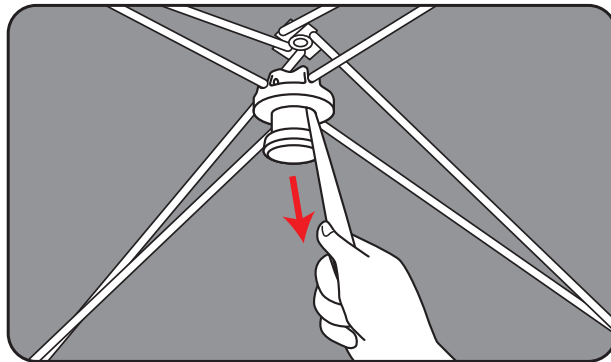


撤収手順

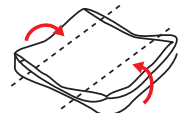
- 1 ペグ、ロープをすべて外し、各脚のプッシュボタンを押しながらフレームの脚を縮めます。



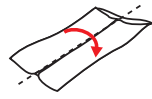
- 2 フレームの天井部の真ん中にあるウェビングテープを引っ張ってフレームを中心方向に縮めます。本体フレームからシェードスキンを外します。



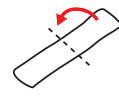
- 3 シェードスキンの四隅をきれいに広げ正方形にし、下図のようにしてたたみ収納します。



両側面を折りたたむ。

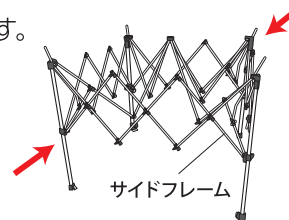


更に中へ折り込み、
1/4のサイズにたたむ。



それを縦に二つ折りにし、
同様に2回縦にたたむ。

- 4 本体フレームを中心方向に収束させていきます。



 収納する時には必ずシェードスキンを本体フレームから外してください。シェードスキンがフレームにかみ込み、傷・破れ等の原因になるおそれがあります。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

お問い合わせ先 コールマンカスタマーサービス: 0120-111-957

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

Coleman

Model 2218226

INSTANT VISOR SHADE III/ SCREEN HOUSE LDR

[インスタントバイザーシェード III / スクリーンハウス LDR]

取扱い・組立て説明書



※品番により一部仕様や見た目が異なります。

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項



危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- シェード内での火気の使用は、一酸化炭素中毒等、大変危険、かつ生命をおびやかすおそれがありますので絶対におやめください。また火災等の原因となりますので、火気から離れたところに設営してください。
- 台風、暴風雨、落雷等の悪天候の際は危険ですのでシェードの使用はおやめください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でシェードを設営しないでください。



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- お出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- 設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- 設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- シェード本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はシェードの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- シェード設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、シェードを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- シェード本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる可能性があります。
- シェードを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- シェードから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、シェードが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。シェード内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとでできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因になります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

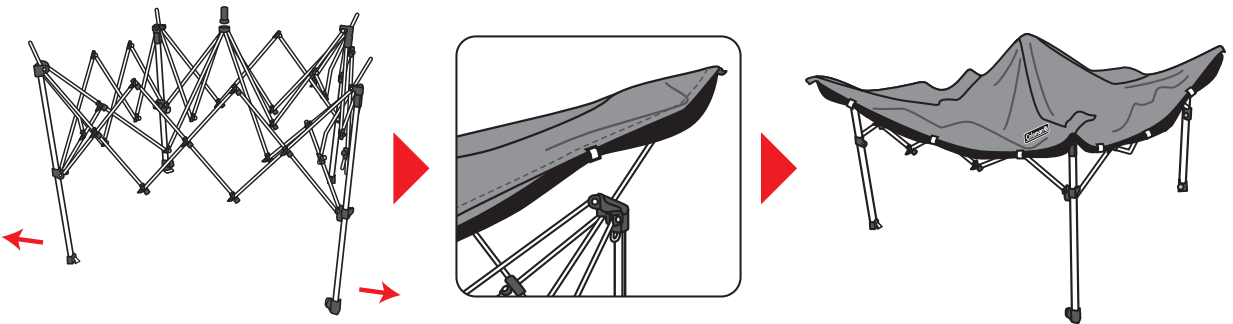
- 本体フレーム×1
- シェードスキン×1
- 自在ロープ×4
- スチールペグ×10

設置時



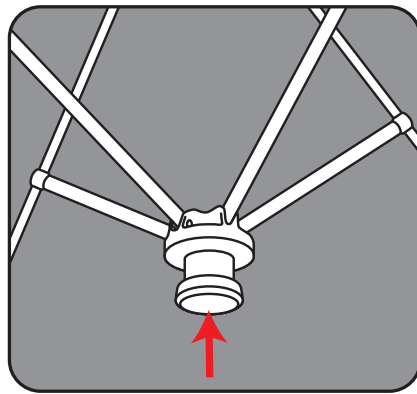
設営手順

- 1 本体フレーム脚部を4本とも均等に外に押し広げ、ある程度広がったらシェードスキンをかぶせます。

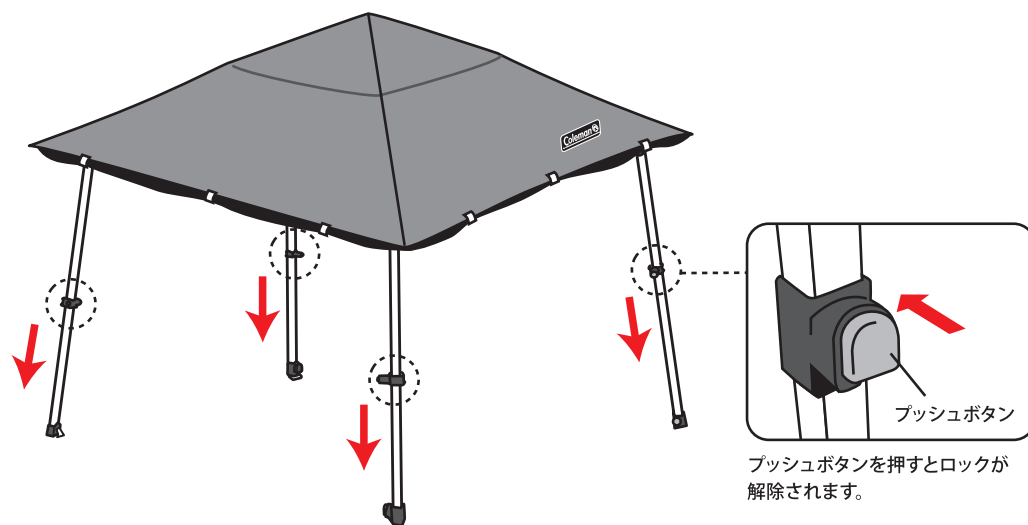


設営は二人以上で行ってください。無理に広げるとフレーム破損の原因となります。

2 フレームの天井部の真ん中にあるワンタッチシステムボタンを上押し上げてシェードを建てます。

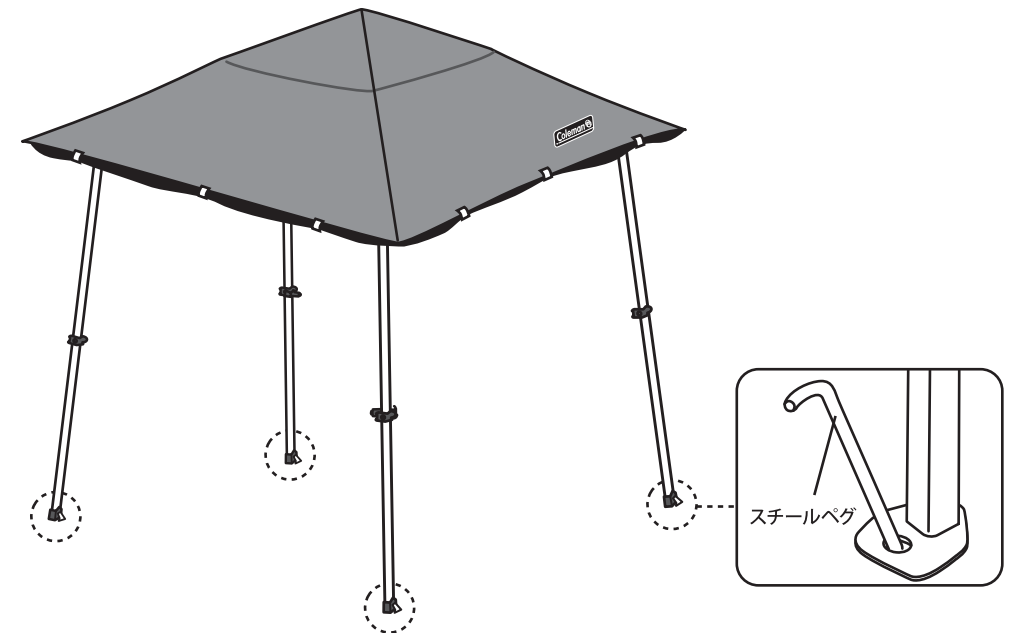


3 本体フレームの4本の脚部を、プッシュボタンを押してそれぞれ伸ばします。カチッと音がするまでしっかり伸ばしてください。

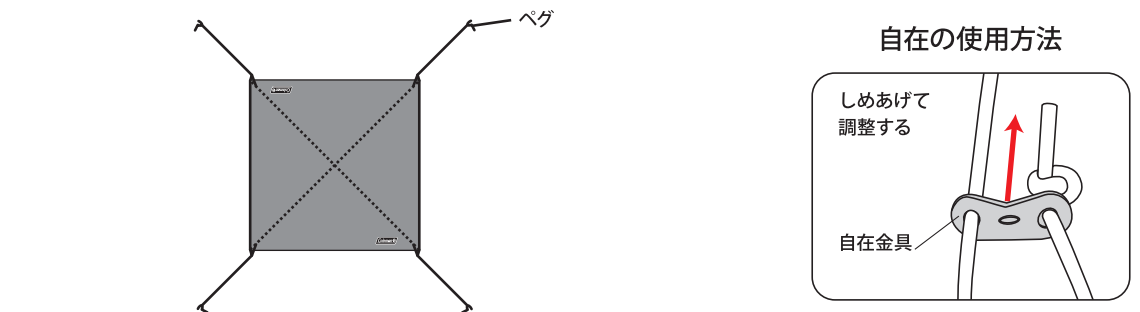


 4本の脚部が確実にロックされ、地面と平行になっているか確認します。

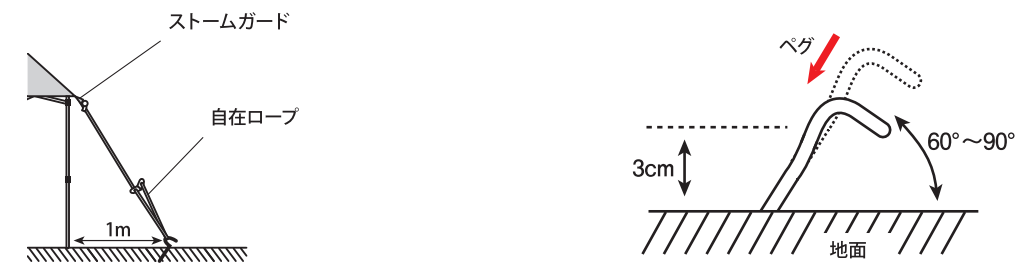
4 設置位置を決め、シェードの脚部4ヶ所の穴にペグ打ちして本体を固定します。



5 ストームガードシステムはシェードの安定性を高めます。
各コーナーに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



上図の要領にて4ヵ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。
自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないよう調節してください。

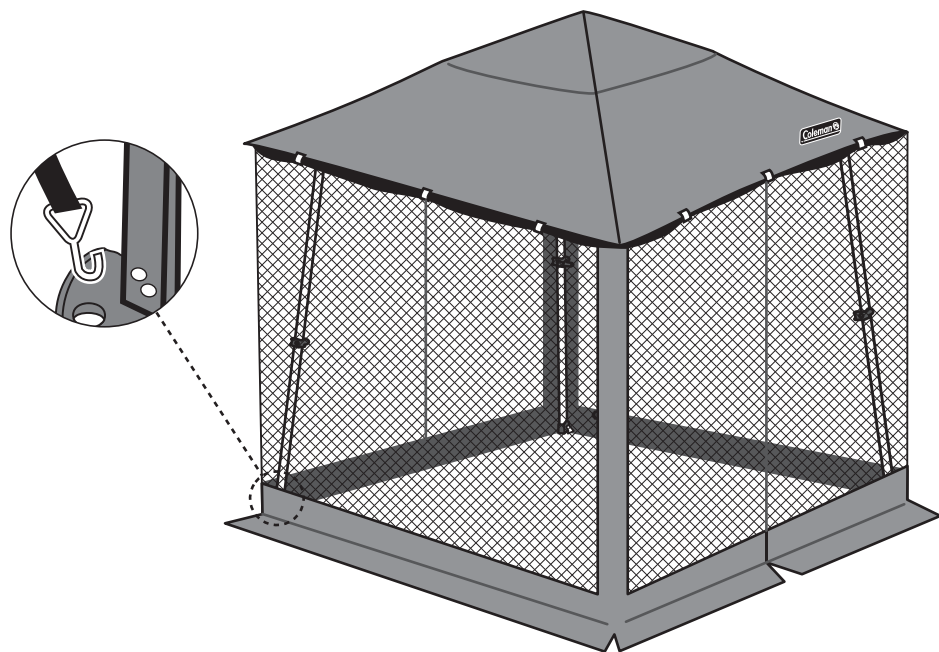


自在ロープの端をストームガードのループに結びます。
ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめロープの長さを調節します。

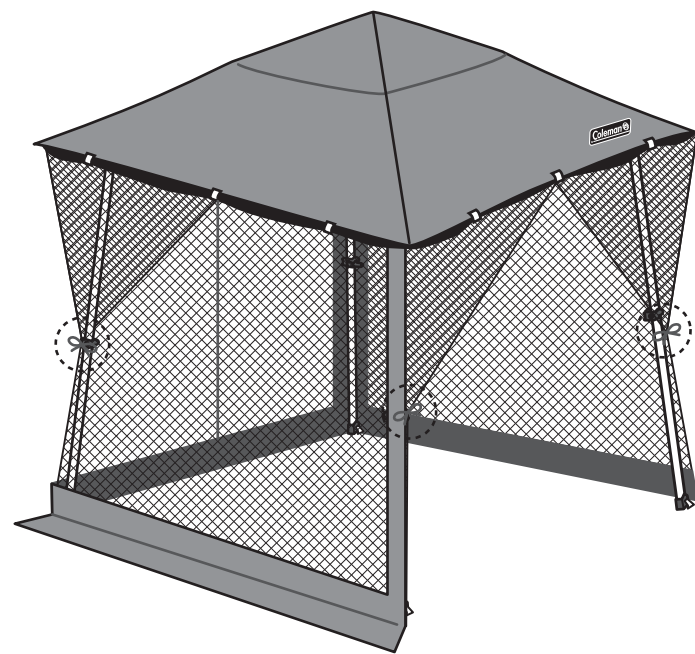
 大きなサイズのシェードは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。

6 メッシュスクリーンを固定するには、メッシュスクリーン下部のフックを図のようにかけて固定します。

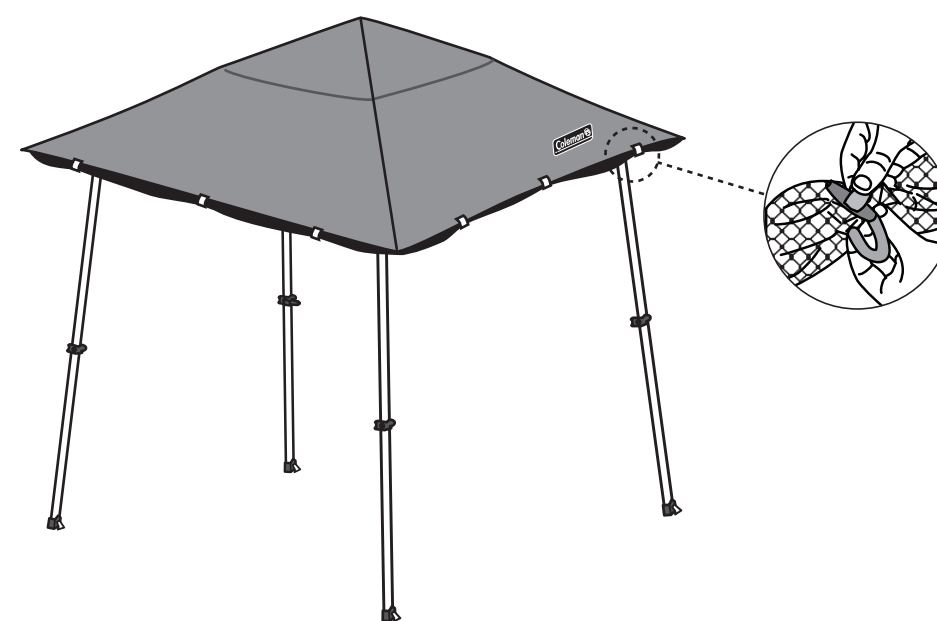
※シェードの脚部フレームは高さが調節できます。フックが合うように調節してください。



7 メッシュスクリーンに付いているロープをフレームに巻きつけることで、出入口を作ることができます。



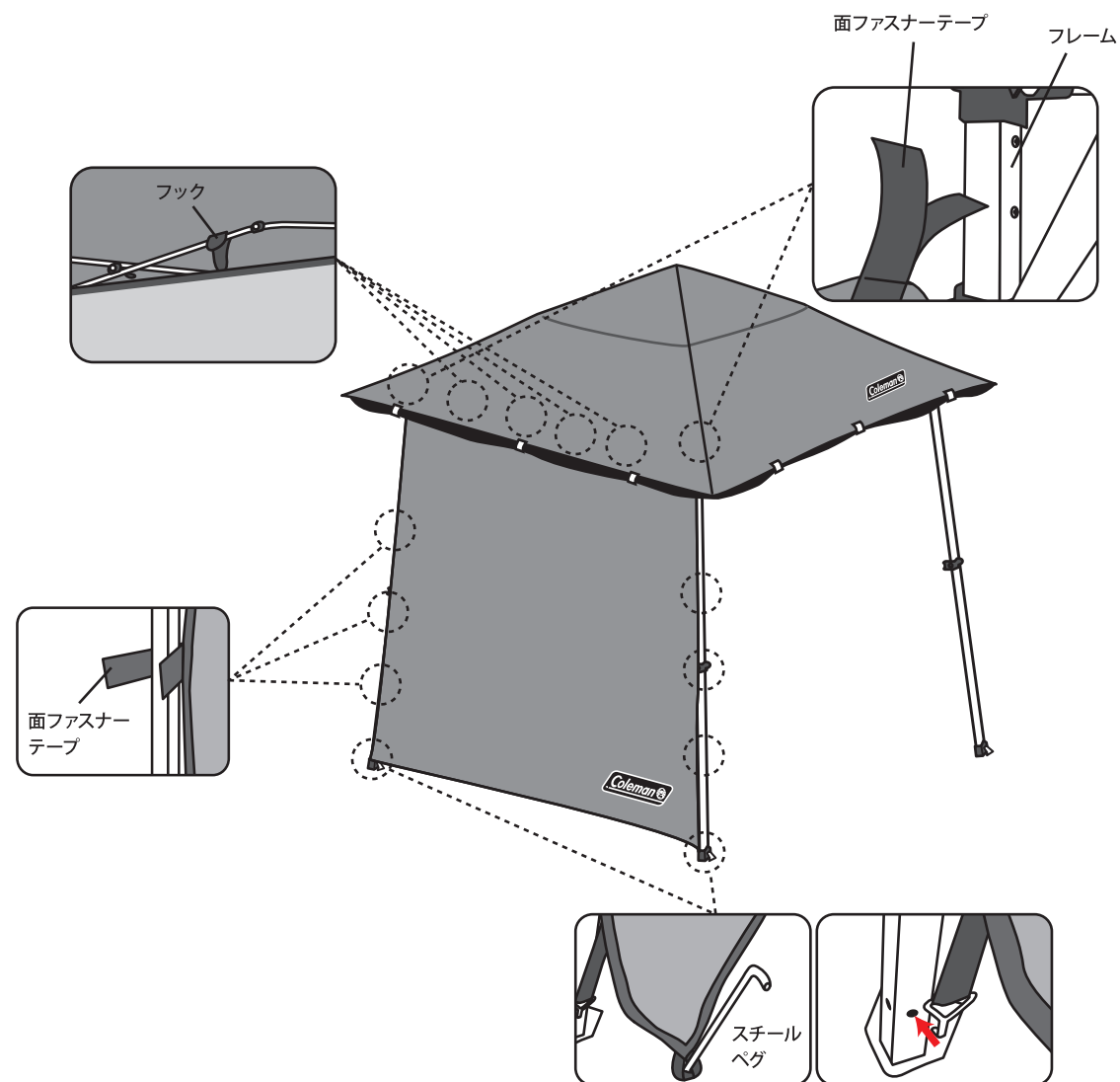
8 メッシュスクリーン全体を上巻き上げ、付いているループとトグルで固定することで、通常のバイザーシェードとしての利用も可能です。



フルフラップ (別売) の装着方法

フルフラップを広げ、両サイドにそれぞれ4つ付いている面ファスナーの一番上をフレームにそれぞれ留めます。また、フレームの脚の下部にある穴にフルフラップフックをそれぞれ引っ掛けます。フラップ上部の4ヶ所のフックを任意のフレームに引っ掛けます。最後に残りの面ファスナー（各脚3ヶ所の合計6ヶ所）でフレームに固定します。スチールペグをフラップ下部にあるループに打ち込んで固定します。

※シェードの脚部フレームは高さが調節できます。フラップの高さに合わせて調節してください。



memo

memo

9

memo

10